

株式会社講談社の最後レポート

株式会社講談社は、雑誌や小説などさまざまなメディアを発行する出版社として 1909 年に設立されました。野間清治によって大日本雄辯會として設立されて、1911 年に株式会社講談社が設立されました。その後、1931 年に、株式会社講談社は音楽メディアを出版するとして、古い雑誌の名前からキングレコード株式会社を設立しました。1958 年、大日本雄辯會から講談社になりました。

株式会社講談社は日本に本社があり、台湾、中国、ヨーロッパ、アメリカにも 4 か所あります。従業員数は 2023 年 5 月時点で 957 名、資本金は 3 億円となっています。株式会社講談社の 2022 年の売上高は約 1,694 億 8,000 万円です。日本での出版部数は約 1 億 7,800 万部で、日本の出版部数の約 9 パーセントを占めます。日本のもう一つの大手出版社である株式会社集英社は、2022 年の純売上高が約 2,096 億 8,000 万となっていました。

たいてい、出すことはシーズンごとに行われて、前のシーズンの終わり頃に、新しいライセンスか古いライセンスの続きかに関係なくて、新しいシーズンが発表されます。同社は成長して、特に大事な コンペティター が株式会社集英社である海外市場でのマンガに注力してきました。漫画もよく売れて、2019 年には「進撃の巨人」の発行部数が 1 億部を上回りました。

株式会社講談社のもっとも人気のあるライセンスの一つである「進撃の巨人」は 2021 年に完了して、これが 2021 年から 2022 年までにかけて売り上げが減少した理由の一つである可能性がありました。2021 年に完了していないだけの主要なライセンスは「東京卍リベンジャーズ」でありました。ただし、「東京卍リベンジャーズ」は 2023 年 6 月に完了したために、来年度は売り上げが減少する可能性があると思っています。

株式会社講談社が将来直面する可能性のある問題は、人々の興味をアトラクティブなライセンスを手に入れることだと思います。定番や基本のものはありますが、売り上げの可能性を広げて新しい作品があることが重要です。2021 年から 2022 年までかけて売上はわずかに落ちました。それから、強力なライセンスが発行されていないことが原因でかもしれませんでした。彼らの最後のメジャーライセンスは「東京卍リベンジャーズ」でした。そうして、2023 年 6 月に完了しました。

最後に、株式会社講談社は日本の大手出版社の一つであり、世界的に大きな存在感を示しています。売上の多少の落ちてあれば回復可能ですが、新しいライセンスをスカウトするのは良いことかもしれません。彼らは広いコンペティターよりも広い層をターゲットにして、それが強みです。全体的に同社の実績は好調であり、今後も好調が続くと思います。

Bibliography

“About Us | kodansha Corporate Site Inspire Impossible Stories.” *KODANSHA.Com*, KODANSHA, www.kodansha.com/aboutus/#history. Accessed 22 Nov. 2023.

“History | Kodansha Corporate Site Inspire Impossible Stories.” *KODANSHA.Com*, KODANSHA, www.kodansha.com/history/. Accessed 22 Nov. 2023.

“Our Business | kodansha Corporate Site Inspire Impossible Stories.” *KODANSHA.Com*, KODANSHA, www.kodansha.com/ourbusiness/. Accessed 22 Nov. 2023.

Statista Research Department. “Kodansha: Net Sales 2022.” *Statista*, Statista, 8 Mar. 2023, www.statista.com/statistics/1219427/kodansha-net-sales/.

Statista Research Department. “Shueisha: Net Sales 2022.” *Statista*, Statista, 29 Sept. 2023, www.statista.com/statistics/1219320/shueisha-net-sales/.